

数式時計

窮理の部屋170

テレビ番組で、文字盤の1から12の数字の部分が数式になっている時計を見かけました。今や、そんな時は「時計 数式」でネット検索すれば、すぐに類似の商品がいるいろ見つかって、手に入れることもできるのですが、どうも私の気に入るものがないのです。

というのも、例えば「8時」が「16/2」とか、「2時」が「 $\sqrt{4}$ 」とか、「10時」が「 $\log (100^5)$ 」になっていたりするのです。確かに「16/2」は「8」ではあるのですが、数式ならなんでもいいというわけではありません。こういう特に意味のない数式がひとつでも入っていると、う~んどうして…と思ってしまうのです。

そこで、私なりに数式時計の文字盤を考えてみました。もちろん、各数字にどのよう

な数式を置くかは、ひとそれぞれの好みではあるのですが、こんな文字盤の時計はいかがでしょうか。

「1時」は、e(自然対数の底)、i(虚数単位)、 π (円周率)の間に成り立つ関係式で世界一美しい数式ともいわれるオイラーの等式 $\Gamma e^{i\pi}+1=0$ 」からとりました。

「2時」の式に書かれている「 Σ 」は、足し算をしていく記号で、「 $1+1/2+1/4+1/8+1/16+1/32+1/64+\cdots$ 」とどこまでも足していくと、限りなく2に近づいていきます。右の図のように、面積が1, 1/2, 1/2

4, 1/8, …の四角を組み合わせていくと、全体の面積が2になることがわかるでしょう。

「3時」の[]はガウス記号といって、括弧の中の数を超えない最大の整数を表わしています。円周率はπ=3.14…ですから、πを超えない最大の整数は3ということになります。

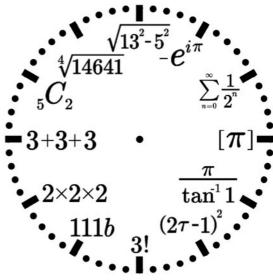


図1. 長谷川作の時計の文字盤

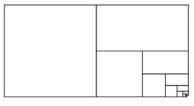


図2. 1+1/2+1/4+1/8+…

「4時」の数式には三角関数が出てきていますが、角度をラジアンという表記にすると、180度が π になります。また、51、180度が π 1、180度です。これをラジアンで表記すると π 1、1800 を π 2 が π 3 になります。

「5時」に出てくる「 τ 」は黄金比の1.61803…です。正 五角形の一辺の長さと対角線の長さの比も、黄金比になっています。ここでは、「 $\tau = (1+\sqrt{5})/2$ 」を変形することで、「 $(2\tau-1)^2=5$ 」としました。

「6時」に出てくる「!」マークは階乗を表わす記号で、1からその数までを掛け合わせた数になります。「 $3!=1\times2\times3=6$ 」「 $4!=1\times2\times3\times4=24$ 」なので、時計の文字盤として階乗が使えるのは「3!」までです。

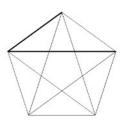


図3. 正五角形の 辺と対角線

「7時」「8時」「9時」には、111、222、333と同じ数字を 3つ並べてみました。8時と9時はわかりやすいですが、7時は何でしょうか。「b」と付いているのは2進数を表わしていて、2進数の「111」は10進数で「7」になります。

「10時」の「C」はコンビネーション(組み合わせ)を表わす記号で、ものが左下の数だけある中から右下の数のものを取り出す場合に、ものの組み合わせが何通りあるかということを表わします。例えば「りんご」「オレンジ」「グレープ」「レモン」「ソーダ」味の飴が1個ずつ計5個あって、この中から2個選んだときにそれが何味と何味かという組み合わせは10通りなのです。

「11時」に出てくる14641というのは、二項分布というものに出てくる数です。例えば、コインを1枚投げて表がでる確率と裏が出る確率は1:1ですが、2枚投げたら、2枚とも表・表と裏が1枚ずつ・2枚とも裏になる確率は1:2:1、3枚だと1:3:3:1、4枚だと1:4:6:4:1、5枚だと1:5:10:10:5:1…になります。またこの数字の並びは、「11²=121」「11³=1331」「11⁴=14641」というところにも出てきます(但し、5乗以上は繰り上がりのため、二項分布の数そのままの並びにはなりません)。

最後の「12時」は、ピタゴラスの定理と関係しています。三角形の各辺の長さの比が3:4:5になっていると、「3²+4²=5²」なので直角三角形になっています。同じよ

うに辺の長さの比が5:12:13の三角形も $5^2+12^2=13^2$ 」なので直角三角形です。これを変形して、 5^2 1日 時」にしました。

文字盤が剥き出しになっている時計があったら、図 1を拡大コピーして貼り付けてみてはいかがでしょうか。 また、皆さんなら1~12の数字のところにどんな数式を 入れるでしょうか。

長谷川 能三(科学館学芸員)

